

特定行政庁より報告を受けた建築物における事故の概要

(平成22年12月1日～)

※前回部会において調査終了とされたものを除く

発生年月日	発生場所	建築物用途	状 況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
H24/07/06	大阪府内	水泳場(温水プール) スポーツ練習場	屋内プール天井のボードの一部(耐湿岩面吸音板 約20cm×約20cm×厚12mm)が約7.8m落下し、水中歩行中の男性の左肩にあたり打撲。	軽傷	○特定行政庁において調査を実施。 ○天窓部分のシーリングの劣化により、一部のシーリングが切れて、そこから雨水が浸入(築約12年程度)。 ○浸入した雨水により、仕上げ材が水分を含み、強度の低下とともに重量が増えたため、下地との接合が離れて落下したものと考えられる。	○所有者にてシーリングの打ち替え工事、天井の復旧工事を実施。 ○国土交通省から特定行政庁に建築物防災週間の重点事項として適正な維持保全を所有者等に周知するように依頼。
H24/07/26	北海道内	共同住宅	1階廊下のコンクリート床の一部(幅1.23m、長さ4.5m)が抜け落ち、廊下を歩いていた男性二人が約2m下の地下車庫部分に転落。	腰椎圧迫骨折1名 軽傷1名	○特定行政庁において調査を実施。 ○デッキプレートの上にコンクリートを敷設した板をアングル材で固定したものであった。 ○経年劣化(築約28年程度)によるアングル及びデッキプレートの腐食によると考えられる。	○管理者にて崩落部分、その他の部分について補強工事を実施。
【以下は前回部会以降追加分】						
H24/07/31	山口県内	公営住宅	2階部分の底の仕上げモルタルの一部(長さ30cm、幅10cm、厚さ3cm程度×2個)が落下。アスファルト面で跳ね返った破片で、入居者の男性が左足を負傷。	膝を負傷(打撲)	○特定行政庁において調査を実施。 ○底部分の鉄筋が錆び膨張し、モルタル片が剥離、落下したものと考えられる。(築約32年程度)	○当該団地の全住棟(6棟)について、緊急点検を実施。
H24/08/07	埼玉県内	老人福祉施設	小学生2名がかくれんぼをして、2階の吹き抜け部分に張られた石膏ボードの上に乗ったところ、石膏ボードが破損し、転落した。小学生2名と1階の落下地点付近にいた老人2名が負傷した。	右手首骨折1名 軽傷3名	○特定行政庁において調査を実施。 ○建設当時は吹き抜けだった箇所(1.63m×0.93m)を、空調の効率化のため取り外し式の竹細工板を設置していたが、消防の立入検査、指導により、平成21年3月に石膏ボードで塞ぎ自動火災報知器を設置した。 ○小学生2名が石膏ボードに乗ったところ、重さに耐えきれず、石膏ボードが破損し落下したものと考えられる。	○管理者がスチール製ロッカーを設置し、吹き抜け部分への進入防止措置を実施。

発生年月日	発生場所	建築物用途	状 況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
H24/08/12	沖縄県内	店舗兼共同住宅	建物前面道路歩道で女性が日傘をさして立っていたところ、建物の3階外壁仕上げモルタル(縦40cm、横1.4m、厚さ2cm程度)が落下し、女性の傘に一度当たって、鎖骨や足の甲部分に当たった。	軽傷	○特定行政庁において調査を実施。 ○屋上パラペット部分等から雨水浸入や経年劣化(築約32年程度)により、外壁仕上げモルタルに浮きが発生し、落下したと考えられる。	○所有者にて建物外壁の仕上げモルタルをはつり、塗装仕上げにて修繕工事を実施。 ○国土交通省から特定行政庁に建築物防災週間の重点事項として適正な維持保全を所有者等に周知するように依頼。
H24/08/26	東京都内	駐車場	被害者が車とともに鉄柵を突き破り、建物4階から1階渡り廊下のルーフを突き抜け、地上へ落下。	肋骨骨折1名 軽傷2名	○特定行政庁において調査を実施。 ○現場にブレーキ痕は無かった。 ○運転操作を誤った可能性が考えられる。	○所有者にて鉄柵の復旧工事を実施。 ○所有者にて転落防止ワイヤーの設置等、再発防止策を検討中。
H24/08/28	鳥取県内	店舗	高齢者が、閉じかかった自動ドアに斜めから進入し、ドアが反転動作にならないうちにドアと杖を持った腕が接触し、バランスをくずし転倒した。	軽傷(左脚を負傷)	○特定行政庁において調査を実施。 ○被害者は歩行時に杖を使っている高齢者であり、補助具(杖)を持った腕が自動ドアに接触し、バランスを崩したものと考えられる。	○管理者にて光線センサーの検知範囲の広い製品へ変更するとともに、自動ドアの閉じ速度を遅くするよう調整。
H24/08/28	東京都内	事務所、共同住宅、店舗	最上階、軒先のモルタルがはがれ、隣地側駐車場のスロープに落下。	なし	○特定行政庁において調査を実施。 ○建物の経年劣化(築約45年程度)により、鉄筋の錆発生及びモルタルが剥離し落下したものと考えられる。	○所有者が落下の恐れのある地上部分への立ち入り禁止措置(フェンスの設置)を実施。 ○国土交通省から特定行政庁に建築物防災週間の重点事項として適正な維持保全を所有者等に周知するように依頼。
H24/08/30	福岡県内	庁舎	耐震改修工事中のホイールクレーンが鉄骨柱を吊り上げ中にバランスを崩し、転倒した。転倒時、クレーンのアームで物損が発生。	なし	○特定行政庁において調査を実施。 ○クレーンオペレーターが過負荷防止装置を解除して作業を続けたため、クレーンの性能の限界を超え転倒したものと考えられる。	○事業者においてクレーン作業開始前の各種装置の機能確認と安全装置を解除しないこと等を周知徹底。

発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
H24/09/04	東京都内	共同住宅、事務所、 駐車場、店舗	頭から首にかけて、鋼製の自動シャッター (ゴミ処理施設用)に挟まっている男性を 巡回中の警備員が発見。	死亡	○特定行政庁において調査を実施。 ○シャッターに異常は無かった。 ○障害物にあたった場合に停止する安全 装置はついていなかった。 ○シャッター閉鎖中に下に潜り挟まれたと 考えられる。	
H24/10/14	東京都内	ホテル、物販、飲 食、駐車場、駅	鉄柵の縦格子(100mm間隔)の2本が欠損 しており、30cm程度の隙間から女兒(2 才)が1.3m下に転落。	軽傷	○特定行政庁において調査を実施。 ○鉄柵の経年劣化による破損と考えられ る。(築約27年程度)	○所有者にて柵の補修 工事および、各駅の緊 急点検を実施。 ○国土交通省から特定 行政庁に建築物防災週 間の重点事項として適正 な維持保全を所有者等 に周知するように依頼。
H24/11/11	福岡県内	事務所	ビルの解体工事現場の足場が倒壊した。 倒壊した足場材により物損が発生。	なし	○特定行政庁において調査を実施。 ○強風により長時間にわたり足場が揺さ ぶられ、足場のつなぎが破損し、足場が 倒壊した。	○事業者において足場 は撤去済み。 ○事業者において足場 の壁つなぎの補強、天 候・現場周囲の状況も十 分に鑑み、管理を実施。
H24/11/16	熊本県内	共同住宅	マンションの8階の吹き抜け部から2階に 被害者(11歳)が転落した。	死亡	○特定行政庁において調査を実施 ○被害者が共用廊下の手摺り壁(高さが 1.2m)に上り、窓から自宅に侵入しようと したが、誤って転落したものと考えられ る。	
H24/11/21	東京都内	学校	被害者(当該学校の男子生徒(16歳))が グラウンドから地下2階の体育館に続く吹き 抜け部に転落した。	死亡	○特定行政庁において調査を実施 ○被害者が吹き抜け部に設けられた転落 防止柵を乗り越え、飛来物の落下防止の ための落下防止ネットの上に乗ったとこ ろ、ネットが外れて転落したものと考えら れる。	○所有者において吹き 抜け部への立入禁止措 置(3mのフェンスの設 置)を実施。 ○所有者において、校内 の危険箇所の調査、改 修工事を実施。

発生年月日	発生場所	建築物用途	状 況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
H24/11/22	福岡県内	店舗兼住居 (現在は空き屋)	2階部分の外壁(高さ1.5m×幅2m程度)が、取り付けられていた文字看板とともに、歩道上に落下した。	なし	○特定行政庁において調査を実施。 ○鉄骨胴縁、合板下地ラスモルタルタイル張り仕上げの外壁に、文字看板がとりつけられていたが、経年劣化(築約43年程度)により合板下地から落下したものと考えられる。 ○当該パチンコ店は区画整理事業地内にあり、20年近く空き家の状態であった。	○所有者において建物の2階部分の壁と看板を撤去し、2～3階部分のシート張りなどの応急措置済み。 ○国土交通省から特定行政庁に建築物防災週間の重点事項として適正な維持保全を所有者等に周知するように依頼。
H24/11/28	鳥取県内	店舗	被害者(88歳)が、店舗出入口の自動ドアに接触し転倒した。	左大腿骨転子部骨折	○特定行政庁において調査を実施。 ○施設管理者が手動両引き戸を片側のみ自動ドアとしており、被害者が両開きの自動ドアだと思い前進したところ、自動で開かない側のドアに接触した。	○所有者において自動ドアを撤去し、手動ドアに変更措置を実施。
H24/11/30	愛知県内	保育所	被害者(4歳)が、保育室の外にいた母親の方に走り寄った際、出入口のガラスの引き戸に突っ込み、割れたガラス片が首に刺さり死亡した。	死亡	○特定行政庁において調査を実施。 ○ガラス戸が開いているものと思い、気づかず衝突したものと考えられる。	○所有者においてガラス戸に衝突する危険防止のため建具に中棧を追加し、ガラスを強化ガラスに取替実施。
H24/12/03	沖縄県内	共同住宅	居間の天井スラブが剥離し(コンクリート、縦14cm×横10cm×厚さ2cmが2個程度)剥離したものが天井板を突き破り落下し、居住者である被害者(2歳)が負傷した。	軽傷(額に切り傷)	○特定行政庁において調査を実施。 ○最上階(3階)の部屋でもあることから、雨水侵入や経年劣化(築後40年以上)により、天井スラブの鉄筋が腐食し、コンクリートに浮きが発生し落下したものと考えられる。	○現在、3階部分には居住者はなし。 ○国土交通省から特定行政庁に建築物防災週間の重点事項として適正な維持保全を所有者等に周知するように依頼。
H24/12/08	岡山県内	ホテル、商業施設	地上約30m上のガレリア天井に取り付けられているエキスパンジョイント部のアルミパネル1枚(1m×0.6m、重さ約4.4Kg)が落下した。	なし	○特定行政庁において調査を実施。	調査中 ○落下したパネル部分に代替材を取付及びEXP. J部分の天井パネルの固定ビスの追加設置を実施。

発生年月日	発生場所	建築物用途	状 況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
H25/01/25	大分県内	自動車駐車場	立体駐車場の最上階(約20m)から、自動車が鉄骨製の防護柵を破壊し道路に落下した。	軽傷(顔、胸を打撲)	<ul style="list-style-type: none"> ○特定行政庁において調査を実施。 ○屋上西側車室に駐車しようとしたところ、フェンスに接触し、その後車室を飛び出し屋上階(約67m)を横断走行し、東側フェンス、防護柵を突き破り、地上へ落下した。 ○現場にブレーキ痕は無く運転操作を誤った可能性が考えられる。 	○破損した防護柵部分について仮設柵の応急措置を実施。
H25/02/06	東京都内	一戸建ての住宅	きしみ音とともに家屋が倒壊し、全壊した。	軽傷	<ul style="list-style-type: none"> ○特定行政庁において調査を実施。 ○建物の老朽化によるものと考えられる。(築約60年以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ○倒壊した建物については撤去を実施。 ○国土交通省から特定行政庁に建築物防災週間の重点事項として適正な維持保全を所有者等に周知するように依頼予定。
H25/02/15	山口県内	展望台	高さ約8mの展望台2階部分の外壁(モルタル片、縦20cm、横5m)がはがれ落下し、地面で砕け、跳ね返った破片により駐車中の軽乗用車が損傷した。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ○特定行政庁において調査を実施。 ○建物の老朽化によるものと考えられる。(築約40年程度) 	○所有者において建物の地上1階、地下1階及び周囲を閉鎖し、外壁全体の劣化調査を実施予定。
H25/02/21	大阪府内	公衆浴場	サウナ室の天井が落下し、入浴していた2名が負傷した。	軽傷	<ul style="list-style-type: none"> ○特定行政庁において調査を実施。 ○給排気ダクトに使用されていた鉄フレキパイプが腐食、脱落し天井懐内に高湿の空気が進入し、天井吊り金具のスチール垂鉛メッキが腐食し落下したと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設については現在使用を停止中。 ○落下した天井部材については撤去を実施。 ○天井については改修工事を予定。
H25/02/25	北海道内	庁舎	地下一階の外装材(縦1.15m、横0.91m、厚さ6cm、重さ約130Kg)16枚が剥がれ、落下した。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ○特定行政庁において調査を実施。 ○躯体と外装材の間に雨水等が入り込み、凍結等を繰り返すなどして隙間が広がったと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○落下事故が発生した壁面の外装材の撤去を実施。 ○外装材が落下していない車両通行部には、落下防止措置を実施。

発生年月日	発生場所	建築物用途	状 況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
H25/03/08	宮崎県内	店舗	3階の外壁・軒裏(モルタル)部分が剥がれ、落下した。(5m ² 程度)	なし	○特定行政庁において調査を実施。 ○建物の老朽化によるものと考えられる。(築約38年程度)	○既存のモルタル除去後、外壁ボードの設置を実施予定。 ○国土交通省から特定行政庁に建築物防災週間の重点事項として適正な維持保全を所有者等に周知するように依頼予定。
H25/03/10	愛知県内	物品販売店舗	テナント改装工事のため店舗と通路を仕切るために設置されていた仮設の壁(高さ5m×幅10m)が倒れ、買い物客3名が軽傷を負った。	軽傷3名	○特定行政庁において調査を実施。 ○外壁の一部に建具が設置されていない開口部があり、そこから風が吹き込み倒れたものと考えられる。	○管理者において仮設の壁について補強を実施。 ○管理者において外壁の開口部を覆い風が吹き込まないよう措置を実施。
H25/03/13	京都府内	工作物	タワー上部(地上から約46m付近)が破断し、ナセル(発電機付き約38トン)及びブレード(3枚羽根、直径50m、約2.4トン/枚)が落下した。	なし	○特定行政庁において調査を実施。	調査中 ○管理者において安全のため、立入禁止措置を実施。
H25/03/18	広島県内		解体工事中に2F外壁を重機で引き倒し、2Fスラブに載せたところ、重みでスラブ・梁・1Fの壁が倒壊し、崩れた部分が解体養生足場(高さ7m、幅15m)を押し、足場が倒壊した。	中等1名 軽傷1名	○特定行政庁において調査を実施。	調査中
H25/04/05	東京都内	共同住宅	工事中のマンションのタワークレーンの壁つなぎを取付作業中、L型の鋼材が前面道路歩道に落下し通行人に接触した。	軽傷1名	○特定行政庁において調査を実施。 ○タワークレーンのフックから鋼材を吊すワイヤーが外れたものと考えられる。	調査中

発生年月日	発生場所	建築物用途	状 況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
H25/04/07	三重県内	工作物	19基ある風力発電設備のうち、最も東側に位置する19号機(高さ65m)のナセル(発電機付き)及びブレード(3枚羽根、直径80m、約6.5トン/枚)がタワーより落下した。	なし	○特定行政庁において調査を実施。	調査中